

南紀熊野ジオパーク及び山陰海岸ジオパークの再認定審査の結果等について

平成31年3月2日
 広域観光・文化・スポーツ振興局
 ジオパーク担当

南紀熊野ジオパーク及び山陰海岸ジオパークは、本年度、再認定審査を受け、その結果、両ジオパークともに再認定（グリーンカード）を受けました。

1 南紀熊野ジオパーク（日本ジオパーク）

- (1) 再認定審査 平成30年11月5日～8日
- (2) 審査結果 再認定（グリーンカード）（平成31年1月18日発表）
- (3) 評価内容
 - ジオパークガイドをはじめ各種団体とそれを支援する地域の事業者及び県、市町村が国立公園とも協力して、教育、保全、ガイドツアーなど様々な活動を繰り広げている。
 - 多くの関係者がジオパーク活動を楽しんでいる。
 - この4年間の活動で、自然や文化などの資源を保全し、その価値を伝え、地域の経済活動を活性化する持続可能な観光へ向けた土台ができはじめている。

エリア図



和歌山県新宮市、白浜町、上富田町、すさみ町、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町及び奈良県十津川村の一部 10市町村

せんじょうじき
千畳敷（白浜町）



こさがわ
古座川の一枚岩（古座川町）



裏面へ →

2 山陰海岸ジオパーク（世界ジオパーク）

(1) 再認定審査 平成30年8月6日～9日

(2) 審査結果 再認定（グリーンカード）（平成31年2月26日発表）

(3) 評価内容（主な勧告）

- 山陰海岸ジオパークは、世界ジオパークネットワーク（GGN）の活動に積極的に参加しているが、他の世界ジオパークと更に姉妹提携を締結するなど、連携を一層強化すること。
- 地元産品と地質、地域の歴史、文化、自然との関わりを探究するために、地域で活動する人々との協働を更に進めること。
- ジオパークエリア内の景観地域間のつながりを分かりやすくするために、景観地域の位置や交通手段を示すパンフレットを用意すること。
- 他の世界ジオパークとのパートナーシップに基づき、ジオパークの国際的な価値を高めるために、世界ジオパークネットワーク（GGN）やアジア太平洋ジオパークネットワーク（APGN）の活動に積極的に参画すること。

エリア図



京都府京丹後市、兵庫県豊岡市、香美町、新温泉町、鳥取県鳥取市、岩美町 6市町

げんぶどう
玄武洞（豊岡市）



たていわ
立岩（京丹後市）

